

令和4年度 決算 報告

基金および市債の状況

項目	令和3年度末	令和4年度末	増減
基金	118億2,382万円	132億5,169万円	14億2,787万円
財政調整基金	57億9,582万円	64億2,585万円	6億3,003万円
減債基金	11億2,223万円	14億2,224万円	3億1万円
特定目的基金(※)	49億578万円	54億360万円	4億9,782万円
市債	583億6,147万円	554億9,394万円	△28億6,753万円
一般会計・特別会計	347億5,576万円	325億2,045万円	△22億3,531万円
水道事業会計	29億8,720万円	28億3,444万円	△1億5,276万円
下水道事業等会計	206億1,851万円	201億3,905万円	△4億7,946万円

※特定目的基金とは、福祉事業基金、国際交流基金など、用途が特定されている基金のことです

特別会計

項目	収入	支出
国民健康保険(事業勘定)	88億2,708万円	86億8,826万円
国民健康保険(診療施設勘定)	368万円	368万円
後期高齢者医療	11億8,845万円	11億8,313万円
介護保険	91億4,266万円	88億1,746万円
農産物直売事業	356万円	356万円
伊香保温泉観光施設事業	1億6,810万円	1億2,336万円
小野上温泉事業	2,979万円	2,979万円
交流促進センター事業	2,026万円	2,026万円

※収入額および支出額には、令和3年度から令和4年度への繰越分を含みます

企業会計

項目		収入	支出	項目		収入	支出
水道事業会計	収益的収支	17億9,712万円	18億870万円	下水道事業等会計	収益的収支	26億3,837万円	25億3,803万円
	資本的収支	4億6,693万円	14億353万円		資本的収支	18億801万円	24億4,881万円

※収入額および支出額には、令和3年度から令和4年度への繰越分を含みます
 ※水道事業会計で資本的収入額が資本的支出額に不足する分は、過年度分損益勘定留保資金などで補いました
 ※下水道事業等会計で資本的収入額が資本的支出額に不足する分は、過年度分損益勘定留保資金などで補いました

健全化判断比率・資金不足比率

地方自治体の財政状況を判断する指標として、「健全化判断比率」と「資金不足比率」があります。

本市の令和4年度決算の比率は、いずれも基準値を下回り、財政状況は「健全」といえます。今後も財政規律を維持しながら健全な財政運営に努めていきます。

健全化判断比率

比率の名称	本市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	12.35%	20.00%
連結実質赤字比率	赤字なし	17.35%	30.00%
実質公債費比率	4.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	3.3%	350.0%	-

資金不足比率

比率の名称	本市の比率	経営健全化基準
資金不足比率(各公営企業会計)	不足なし	20.0%

用語解説

- ・**実質赤字比率** 中心的な行政サービスを行う一般会計などの赤字の程度を指標化したもの。赤字がないことが望ましい。
- ・**連結実質赤字比率** 全会計の赤字や黒字を合算し、市全体での赤字の程度を指標化したもの。赤字がないことが望ましい。
- ・**実質公債費比率** 借入金の返済額とそれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの。数値が低いほうが望ましい。
- ・**将来負担比率** 一般会計の借入金や将来支払う可能性のある負担などについて、現在の残高の程度を指標化し、今後の財政を圧迫する可能性を示す比率。数値が低いほうが望ましい。
- ・**資金不足比率** 公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示す比率。不足額がないことが望ましい。

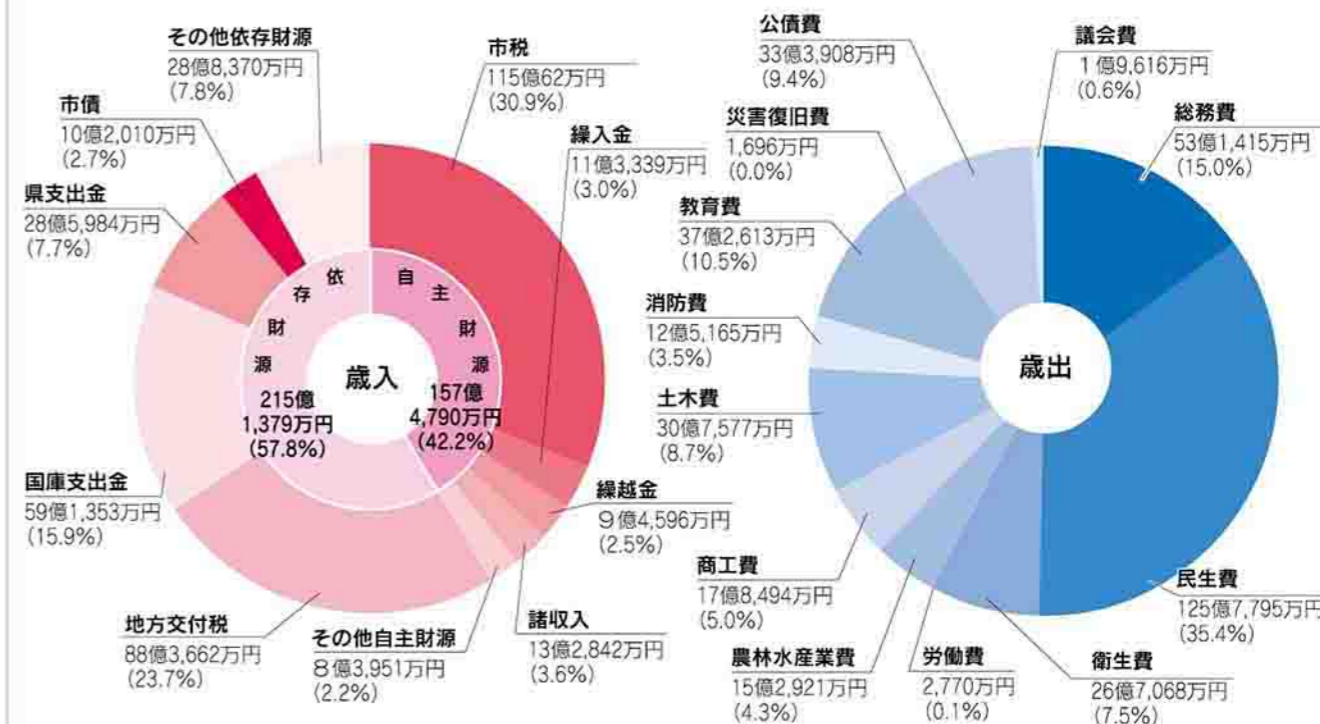
財政状況の詳細なデータは、市ホームページ(<https://www.city.shibukawa.lg.jp/>)で見られます。

一般会計決算

令和4年度決算における一般会計の歳入総額は、372億6,169万円(前年度比4.4%減少)で、歳出総額は、355億1,038万円(前年度比2.8%減少)でした。歳入・歳出ともに前年度と比較して減少したのは、令和3年度に実施した臨時特別給付金事業に関する経費が減少したことなどによるものです。

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた額は、17億5,131万円となりました。そのうち、10億円を将来の備えとして財政調整基金に積み立て、残額の7億5,131万円は令和5年度予算の一部として使用しています。

詳しくは、☎財政課(☎2414)へ。



※歳入額および歳出額には、令和3年度から令和4年度への繰越分を含みます

歳入合計 372億6,169万円

歳出合計 355億1,038万円

歳入の用語解説

- ・**市税** 市民税や固定資産税など
- ・**繰入金** 積み立てていた基金などから繰り入れるお金
- ・**繰越金** 決算剰余金など前年度から繰り越されたお金
- ・**諸収入** 利子や雑収入など
- ・**地方交付税** 市の財政状況に応じて国から交付されるお金
- ・**国庫支出金** 特定の事業を行うために国から交付されるお金
- ・**県支出金** 特定の事業を行うために県から交付されるお金
- ・**市債** 国や金融機関などから借り入れるお金

歳出の用語解説

- ・**総務費** 市の全般的な事務に使われるお金
- ・**民生費** 子どもや高齢者、体の不自由な人などのために使われるお金
- ・**衛生費** 市民の健康増進やごみの処理などに使われるお金
- ・**農林水産業費** 農林水産業の振興や土地改良などに使われるお金
- ・**商工費** 商工業や観光の振興などに使われるお金
- ・**土木費** 道路や公園の整備などに使われるお金
- ・**教育費** 幼稚園、小・中学校、体育・文化活動などに使われるお金
- ・**公債費** 借り入れたお金の返済に使われるお金

上半期の 予算執行状況

今年度上半期(4月1日～9月30日)の予算執行状況などをお知らせします。数値は9月30日現在のものです(1万円未満の金額は端数整理してあります)。詳しくは、[財政課\(☎2414\)](#)へ。

一般会計

歳入 収入率44.4% ■ 予算現額375億363万円
■ 収入済額166億3,844万円

市税	114億276万円 62億7,683万円	55.0% (収入率)
地方交付税	84億円 59億1,678万円	70.4%
国庫支出金	57億5,076万円 14億1,812万円	24.7%
県支出金	25億435万円 2億5,875万円	10.3%
繰入金	24億4,535万円 0万円	0%
諸収入	16億2,526万円 3億2,791万円	20.2%
市債	17億4,030万円 0万円	0%
その他	36億3,485万円 24億4,005万円	67.1%

歳出 執行率43.7% ■ 予算現額375億363万円
■ 支出済額164億708万円

議会費	2億1,310万円 1億1,517万円	54.0% (執行率)
総務費	58億6,766万円 25億8,964万円	44.1%
民生費	132億1,948万円 54億4,972万円	41.2%
衛生費	31億1,763万円 11億1,852万円	35.9%
農林水産業費	17億906万円 10億2,192万円	59.8%
商工費	8億2,747万円 5億1,404万円	62.1%
土木費	35億2,748万円 16億9,464万円	48.0%
教育費	41億505万円 15億7,439万円	38.4%
公債費	34億5,876万円 16億9,239万円	48.9%
その他	14億5,794万円 6億3,665万円	43.7%

特別会計

会計区分		予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険	事業勘定	88億5,352万円	33億8,459万円	32億7,805万円
	診療施設勘定	450万円	1万円	153万円
後期高齢者医療		12億7,144万円	4億2,150万円	3億9,206万円
介護保険		91億2,321万円	39億4,450万円	36億6,198万円
農産物直売事業		250万円	91万円	3万円
伊香保温泉観光施設事業		1億7,649万円	1億1,113万円	5,845万円
小野上温泉事業		1,939万円	332万円	1,465万円
交流促進センター事業		1,578万円	0万円	630万円

市有財産の状況

基金	財政調整基金	74億2,587万円	土地(山林含む)	1,168万1,757m ²
	減債基金	15億2,224万円	建物	34万9,471m ²
	特定目的基金	91億3,696万円	有価証券 その他の権利	11億3,307万円

企業会計

区分		予算現額	収入または支出済額
水道事業	収益的収支	収入 18億3,479万円	8億4,198万円
	支出	19億7,197万円	5億8,678万円
資本的収支	収入	5億9,909万円	4,310万円
	支出	15億3,968万円	9億1,856万円
下水道事業等	収益的収支	収入	26億2,881万円
		支出	26億8,038万円
	資本的収支	収入	22億7,040万円
		支出	29億2,718万円

市債の状況

一般会計・特別会計	308億6,210万円
水道事業会計	22億2,006万円
下水道事業等会計	193億7,606万円
計	524億5,822万円

市民一人当たりの借入額

41万8,625円
(一般会計)